

第3学年対象

令和2年9月25日

普通救命講習会



* 目的 *

- ①事故や突発的な病気の被害者に緊急手当を施す技術を身につける。
- ②生命・安全についての認識を深め、日頃か留意する態度を身につける。
- ③大地震時または大事故に遭遇した際、大人たちとともに救命・救急作業に取り組もうとする意識や意欲を身につける。



救急車が到着する前に
応急手当で心肺蘇生
を行えば生存率が
大幅にUPします。

AEDの使い方は
覚えられたかな?



救命技能認定証交付





八中のAEDはどこにあるか知っていますか？



そこにAEDがあれば
そこに助けようとする人がいれば
助かる命がある。



Automated External Defibrillator
自動体外式除細動器
突然心臓が正常に拍動できなくなった心停止状態の心臓に対して、電気ショックを行い、心臓を正常なリズムに戻すための医療機器

AED

東京防災救急協会指導員の皆様、調布消防署員の皆様
ありがとうございました。



* 助けられた命 *

2009年9月28日 埼玉県入間市黒須グランド
全員 2007年7月9日に MFAJAPAN ベーシック受講

MFA はメディック・ファーストエイドの略称です。MFA は救急医療の先進国、アメリカで40年以上(1976年創設)も前に誕生した一般市民レベルの応急救護の手当の訓練プログラム

埼玉県理容生活衛生同業組合で野球大会を開催した時のことです。試合中に、深谷支部の男性(60歳)が1塁ベースを回り、2塁ベース上で突然前に倒れたのですが、うつ伏せで呼吸が荒く、グラウンドの砂を吸い込む状態でした。脳には影響がないと判断し、数人で、頭、胴体、足と同時に反転、**仰向けにして救急車を要請**しました。その後顔色が急変し、呼吸が停止して、呼びかけにも反応がないため、**心臓マッサージ**をしました。一時的に呼吸が戻るものの、再び停止。**気道確保**、心マッサージ、脈拍チェック、**手分け**をしました。人工呼吸のためのバリアを用意し、顔からの出血はタオルで**止血**し、救急隊の到着まで**声をかけ続け**ました。到着後は速やかに救急隊に現状報告、引き継ぎをしました。倒れた人は無事に退院することができたと本人から後日連絡を頂きました。

救助者の感想

突然、目の前で人が倒れたことにびっくりしました。何度か**講習を受けていたこと**と、同じ講習を受けていた**仲間がいてくれた**ので、気持ちの余裕ができ、**コンタクトをとりながら適切な対応に近い行動が自然にとれた**と思いました。

一人の力というより、みんなの力、協力があつたのが一番の要因だと思います。同じ講習を受けたたくさんの仲間がいたおかげです。

講習を受け、事前に備える大事さを知ることができました。